

平成27年4月1日
住友生命保険相互会社

平成27年度入社式 社長あいさつ（抜粋）

住友生命保険相互会社（社長 橋本 雅博）は497名（総合職員95名、一般職員69名、総合営業職員333名）の新入職員を迎え、4月1日に入社式を行いました。以下に社長あいさつの要旨を紹介します。

■「理想の会社づくり」

当社は「理想の会社を創ろう」という創業の想いから始まった会社。ただし、「理想」とは、単に夢見る「空想」とは異なり、「想いに筋を通す」こと。住友の先人 伊庭貞剛翁の「あくまで現実を重んじるも、現実にとらわれることなく、常に理想を望んで、現実には先んじることただ一步なれ」という言葉のとおり、“現状を見据えた上で、常に理想を望み、現実の一步先を行く”皆さんの行動力に期待している。

■想いを込めた「3つのキーワード」

当社は、若者の持つ可能性に期待して、ブランドパートナーの浅田真央さんと一緒に「YOUNG JAPAN ACTION」を展開している。この若者への期待は、そのまま皆さんに対する期待でもあり、その想いを込めた「3つのキーワード」をお伝えしたい。

○ 未来は若者のちからでつくるもの。

輝かしい未来を拓くために、皆さんの前例にとらわれない発想力と力強い行動力が必要。未来に向けてチャレンジし続ける人になってほしい。

○ みんなひとりじゃない。つながっているんだ。

一人の仕事は必ず誰かの仕事につながり、最後はお客さまのところに行き着く。仕事の先の相手を考えて、心のこもった仕事で相手を支えていく心構えを大切にしてほしい。

○ さあ、みんなで動き出そう。

どんなに立派なプランでも、心で想うだけでは価値を生み出さない。行動して成果に結びつけてこそ価値のある仕事になる。「行動する」職員であってほしい。

当社の成長戦略の柱は、お客さまを支える「人の価値」でダントツの存在になること。この想いを共有して、ともに理想の会社をつくっていきましょう。

以 上